

## 10 月 26 日： 流動性の低下とともに下落

昨日 (10/26) は両市場とも流動性の低下とともに下落した。

ホーチミン市場では、午前中はプラスで推移したものの、後場に入り下落に転じた。VN 指数は前日から 0.44% 下落し、993.36 ポイントで引けた。

同指数は前日、4 日続落の後、緩やかに反発して引けていたが、週初から 2.6% の下落となった。

投資家の弱気姿勢は、前日に比べて売買代金で 8 兆ドン (3 億 25 百万米ドル)、出来高で 4 億 48 百万株と、約 40% 低下した流動性の低さに表れている。

ビンググループ (VIC)、ビンホームズ (VHM)、ビンコムリテール (VRE)、ノバランド (NVL)、ファットダット不動産 (PDR)、ベカメックス IDC (BCM) などのブルーチップが軒並み売られ、不動産銘柄が大きく下落した。うちビンコムリテール (VRE) の下落幅が 3.5% と最も大きく、VIC、VHM、PDR も 2% 台の下落と続いた。

加えて、ビグラセラ (VGC)、ホアファット (HPG)、サイゴンビール (SAB) などの大型株も軟調で、相場の重しとなった。

反対に上昇銘柄では、マサングループ (MSN) が 4% 上昇するなど相場を牽引した。BIDV 銀行 (BID)、PV ガス (GAS)、輸出入銀行 (EIB)、バオベト (BVH)、VP バンク (VPB)、アジア商業銀行 (ACB)、FPT グループ (FPT) などにも上昇したが、上昇幅は 1% 未満だった。

ロンベト証券によると、短期的なサポートラインである 960 ポイント付近で売り圧力は低下し、相場にも反発圧力が形成される。しかし、1,000-1,010 ポイントの心理的な水準が強力な抵抗線となっていることから、指数がこの水準に近づくと流動性が高まることからわかる通り、後場の下落につながったと見ている。

これは売り圧力が依然として市場に重くのしかかっており、現在のサポートラインは明確なものではなく、VN 指数が 1,000-1,010 ポイントの抵抗ゾーンに入ると再び弱気に転じるリスクがあることに注意すべきであると、同証券のアナリストは述べている。



ハノイ市場では、HNX 指数は 6 日続落し、前日から 1 % 下落し 205.95 ポイントで引けた。同指数は 10 月 18 日から 9 % 下落した。

出来高は 45 百万株、売買代金も 6,240 億ドンと、前日から約 40% 急減した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。